2020年６月８日

各　位

会 社 名　株式会社エンバイオ・ホールディングス
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　西　村　実
（コード番号：6092）
問合せ先　経　　理　　部　　長　　長谷川忠玄
（TEL.03-5297-7155）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2020年６月８日（月）15:00～
開催方法	インターネットを利用した動画配信
動画掲載場所	当社コーポレートサイト http://enbio-holdings.com/ir/news
説明会資料名	2020年３月期　決算説明資料

【添付資料】

2020年３月期　決算説明資料

以上

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

株式会社エンバイオ・ホールディングス

2020年3月期 決算説明資料

JPX 東証マザーズ上場

銘柄コード[6092]

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

Ⅰ. 会社概要

Ⅱ. 2020年3月期　決算説明

1. 2020年3月期　決算概要
2. 2020年3月期　トピックス
3. 2021年3月期　通期業績予想（連結ベース）

Ⅲ. 中期経営計画2023について

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

Ⅰ．会社概要

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

会社概要

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

会社名	株式会社エンバイオ・ホールディングス	
代表者	代表取締役社長　西村　実	
本社	東京都千代田区鍛冶町2丁目2番2号	
設立	1999年6月23日	
事業内容	土壌汚染の調査・対策工事・コンサルティング ブラウンフィールドの活用 自然エネルギーの活用	
資本金	1,786百万円（2020年3月31日現在）	
連結業績 （2020年3月期）	売上高　7,408百万円 経常利益　521百万円	
グループ従業員数	79名　（2020年3月31日現在）	
子会社 （孫会社）	・株式会社エンバイオ・エンジニアリング ・恩拜欧（南京）環保科技有限公司 ・株式会社エンバイオ・リアルエステート ・株式会社土地再生投資（60%）	・ヴェガ・ソーラー合同会社 ・アルタイル・ソーラー合同会社 ・ソーラー年金株式会社 ・太陽光パーク2合同会社 ・Enbio Middle East　FZE LLC(UAE) ・Enbio Lel Taqa FZC LLC(UAE)（80%）
関連会社	江蘇聖泰実田環境修復有限公司（江蘇省南京市）（49%） Carbon&Volts Sdn.Bhd.	

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc.　All Rights Reserved,

土地の調査・対策から対策後の有効活用まで
ワンストップ・ソリューション

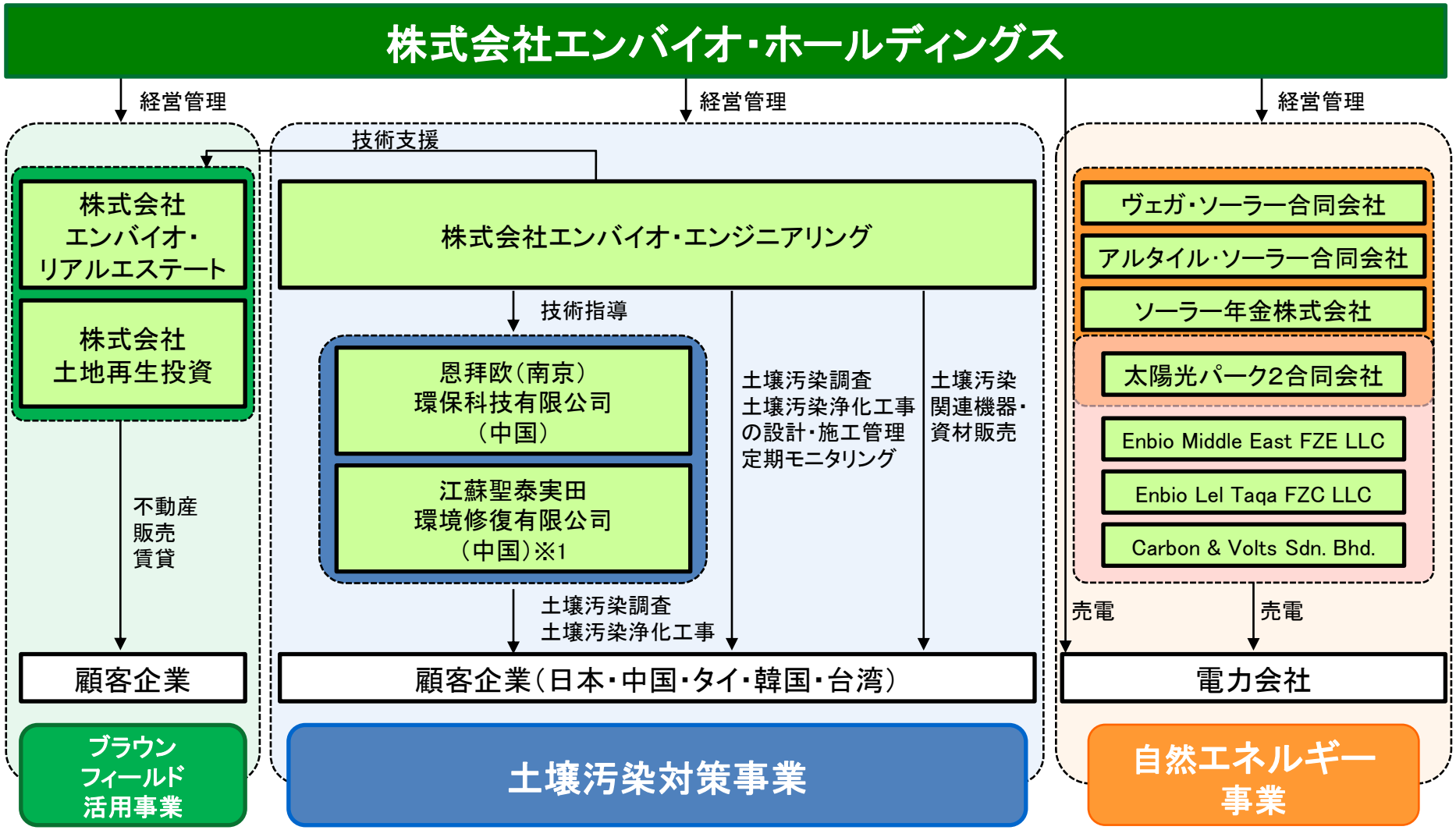
株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.



Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

土地の調査・対策から対策後の有効活用まで ワンストップ・ソリューション

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.



※1　江蘇聖泰実田環境修復有限公司は、2020年5月より現地法令に従い、解散及び清算の手続きを行う予定です。なお、恩拝欧（南京）環保科技有限公司に経営資源を集約して効率化と収益の最大化を図ります。

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

土壌汚染対策事業

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

初期診断から確定診断、リスク低減対策をワンストップで提供

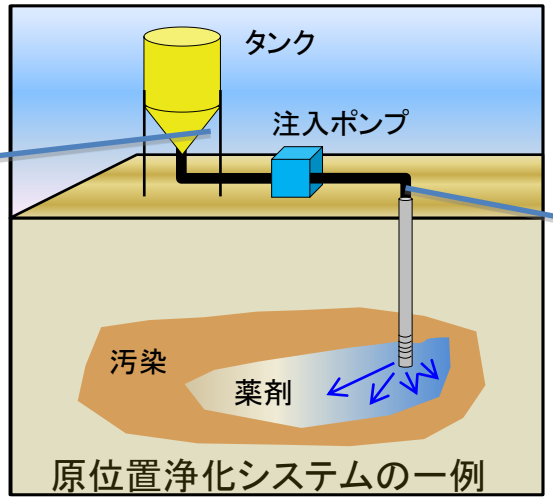
予備評価 → 土壌調査 → 浄化工事 → 資産価値の向上

リスクコンサル
リスクコミュニケーション

価格競争力の大きい原位置浄化を中心に完工実績1000件以上



H_2O_2タンク＆注入ポンプ



原位置浄化システムの一例



注入用井戸

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

様々な技術を組合せて最適な工法を提案

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

- 土壌汚染調査
  - 原位置調査
    - ダイレクトセンシング
- 土壌汚染浄化
  - 原位置浄化
    - 化学酸化還元処理
    - バイオ
    - 揚水処理・ガス吸引
    - 熱脱着（ISTD）
  - 掘削除去



Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

工法例：薬剤注入設備

対象物質：ベンゼン
工法：注入井戸から定流量ポンプで酸化剤を注入



Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

工法例：原位置浄化プラント

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

対象物質：トリクロロエチレン

工法：原位置浄化プラントによる汚染地下水の浄化と微生物活性促進剤の注入



Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

工法例：原位置熱脱着（ISTD）

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

対象物質：トリクロロエチレン
工法：原位置熱脱着法による地下深くの高濃度汚染の浄化



加熱ヒーター井戸と回収井戸



回収した汚染物質の無害化処理装置

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

先進的な資機材を用いた調査・浄化システムの提案

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

米国環境保護局が開発を支援した原位置調査・浄化の
基盤設備（ジオプローブマシン）の国内独占販売権を核に各種ツールス、
浄化用薬剤を組み合せた原位置調査・浄化用システムを提供



Geoprobe Systems

HRC HYDROGEN RELEASE COMPOUND

HRC ADVANCED HYDROGEN RELEASE COMPOUND

ORC OXYGEN RELEASE COMPOUND

REGENESIS

Solinst







QED Environmental Systems













Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

土壌汚染対策事業の中国展開

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

- 日系企業に対して、土壌汚染に加えて排気、排水、廃棄物も含めた環境規制対応コンサルティングとエンジニアリングサービスを提供
- 中国企業に対して、日本で実績のある原位置浄化を核とした浄化技術と設備、薬剤等を提供
- 損害保険会社、環境コンサルティング会社、環境設備会社と連携した顧客開拓
- 中国進出時に設立した合弁会社を清算して100%出資子会社に経営資源を集中することを決定

100%出資子会社の概要	
(1) 名称	恩拝欧(南京)環保科技有限公司
(2) 所在地	中国　南京市
(3) 代表者の役職・氏名	董事長　西村実 総経理　王　寧
(4) 事業内容	土壌・地下水の汚染調査・コンサルティング・修復工事・モニタリング及びそれらに関連する設備と材料の製造・販売・輸出入
(5) 資本金	登録資本金　300万元
(6) 設立年月日	2018年2月12日
(7) 決算期	12月

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

ブラウンフィールド活用事業

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

土壌汚染対策事業と連携したトータルソリューション

予備評価 → 地価評価 → 土地買取 → 土壌調査 → 土地活用計画 → 解体・浄化工事 → 売却/賃借

浄化費用を織り込んで土壌汚染地を現状有姿で購入

コスト優位性を生かした工法で土壌汚染対策を実施

エンバイオ・リアルエステート
- ■ 売却用物件　：基本的に1年以内に売却を行う物件
  （要措置区域指定により地下水モニタリングがある場合は＋2年）
- ■ 保有物件　：基本的に1年以上賃料収入を得て保有する物件
- ■ 投資方針　：1案件当りの投資額　2,000万円～5億円
  売却用物件のプロジェクト利益率10%以上、保有物件の表面利回り8%以上

土地再生投資
- ■ 対象物件　：重篤な土壌汚染のある土地又はその恐れのある土地
- ■ 投資方針　：売却用物件1案件当りの投資額　5億円～20億円程度
  プロジェクト利益率10%以上

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

金谷A地区、金谷B地区発電所 ※再稼働は2021年3月期第1Q予定



Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

Ⅱ．2020年3月期　決算説明

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

1. 2020年3月期　決算概要

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2020年3月期　連結損益計算書推移

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

- 土壌汚染対策事業において、全体の案件数は増加傾向にありつつも、大型案件の割合の伸び悩み等により減収。
- 前期発生した一時的な費用要因がなくなったことに加え、高利益率の元請案件の割合が増加して原価率が改善、増収に繋がった。
- 2018年11月稼働の当社最大規模である石川羽咋郡発電所の売電収入が増益を下支え。

	2019年3月期					2020年3月期						（単位：百万円）
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同四半期比	前年期末累計比
売上高	1,937	2,063	2,523	2,039	8,563	2,154	2,133	1,459	1,661	7,408	81.5%	86.5%
売上原価	1,493	1,651	1,942	1,497	6,585	1,444	1,506	1,016	1,353	5320	90.4%	80.8
売上総利益	443	411	580	541	1,977	709	627	443	307	2,087	56.7%	105.6%
粗利益率	(22.9%)	(19.9%)	(23.0%)	(26.6%)	(23.1%)	(32.9%)	(29.4%)	(30.4%)	(18.5%)	(28.2%)	(ー)	(ー)
販売費及び一般管理費	274	366	333	368	1,344	361	348	332	370	1,413	100.6%	105.2%
営業利益	168	44	246	173	633	347	278	110	▲63	674	ー	106.4%
営業利益率	(8.7%)	(2.2%)	(9.8%)	(8.5%)	(7.4%)	(16.2%)	(13.1%)	(7.6%)	(ー)	(9.1%)	(ー)	(ー)
経常利益	131	▲1	201	104	435	282	236	78	▲75	521	ー	119.6%
経常利益率	(6.8%)	(ー)	(8.0%)	(5.1%)	(5.1%)	(13.1%)	(11.1%)	(5.4%)	(ー)	(7.0%)	(ー)	(ー)
親会社株主に帰属する当期純利益	87	▲5	▲72	▲160	▲150	377	146	41	▲10	555	ー	ー
当期純利益率	(4.5%)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(17.5%)	(6.9%)	(2.9%)	(ー)	(7.5%)	(ー)	(ー)

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2020年3月期　連結貸借対照表推移

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

- ■ 現金及び預金　314百万円減・・・金谷発電所の修繕費（2020年4月保険入金予定）
- ■ 受取手形及び売掛金　362百万円増・・・土壌汚染対策事業の工事進行基準案件の割合増加
- ■ 有利子負債　450百万円増・・・ブラウンフィールド活用事業で売却用物件を4件取得、3件売却(振替除く)

	2019年3月期				2020年3月期 （単位：百万円）			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
資産の部								
現金及び預金	3,077	2,806	2,842	2,341	3,719	3,483	3,295	**2,981**
受取手形及び売掛金	1,897	1,782	1,450	1,411	1,141	1,353	993	**1,355**
たな卸資産	2,233	2,138	2,572	2,735	2,270	2,105	2,354	**2,448**
その他流動資産	332	653	529	474	232	344	412	**793**
有形固定資産	9,479	9,788	9,740	9,519	5,527	5,629	5,599	**5,746**
無形固定資産＋投資その他の資産	1,818	1,800	1,623	1,580	1,890	2,042	1,859	**1,698**
繰延資産	23	21	19	17	15	12	10	**8**
資産合計	18,861	18,991	18,777	18,081	14,797	14,971	14,526	**15,034**
負債・純資産の部								
買掛金	1,113	868	811	793	531	738	591	**706**
有利子負債	12,079	12,045	12,376	12,055	8,305	8,076	7,709	**8,159**
その他流動負債	581	1,011	471	345	711	842	878	**913**
その他固定負債	491	454	616	557	455	400	388	**364**
純資産	4,595	4,611	4,501	4,328	4,794	4,914	4,959	**4,890**
負債・純資産合計	18,861	18,991	18,777	18,081	14,797	14,971	14,526	**15,034**

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2020年3月期 セグメント別売上高・利益推移

株式会社エンバイオ・ホールディングス
ENBIO HOLDINGS, INC.

■ 土壌汚染対策 ： 全体案件数は増加傾向にあるが、売上全体に占める大型案件の割合の減少が影響し減収となり、売上、利益予算ともに未達となった。一方で、前期発生した新工法への先行投資、新規事業からの撤退損失等の一時的な要因が無くなったこと、また元請け案件増加、施工改善等による原価率低減の効果等により利益率は前年累計比で改善した。

■ ﾌﾞﾗｳﾝﾌｨｰﾙﾄﾞ活用 ： 当期販売した物件数は13件と前期に比べて4件減少したものの、平均単価が上がったことにより増収に繋がる。利益面では、予算を上回るも前期の利益率には及ばず、土地再生投資のマイナスのカバーまでに至らなかったことにより減益。

■ 自然エネルギー ： 2018年11月に稼働した当社グループ最大規模の石川県羽咋郡の発電所の売電収入が期初から寄与したことにより、セグメント売上高は前年期末累計比1.3倍、セグメント利益は前年同四半期累計比1.3倍と増収増益で好調。

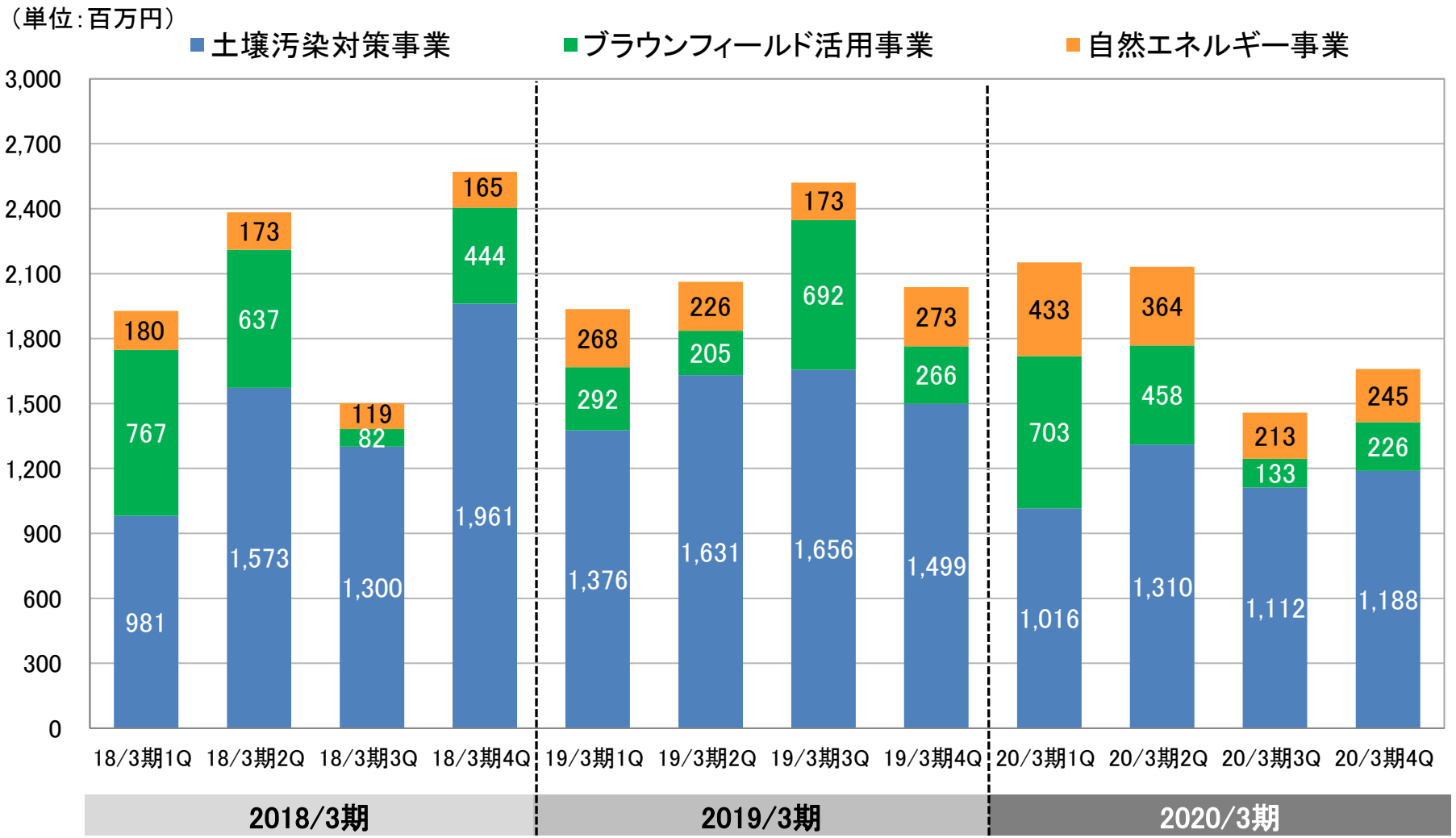
（単位：百万円）

	2019年3月期					2020年3月期						
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同四半期比	前年期末累計比
土壌汚染対策事業												
売上高	1,376	1,631	1,656	**1,499**	**6,164**	1,016	1,310	1,112	**1,188**	**4,627**	**79.3%**	**75.1%**
利益	2	▲61	102	**89**	**133**	28	93	157	**▲38**	**240**	**—**	**180.3%**
利益率	0.2%	—	6.2%	**6.0%**	**2.2%**	2.8%	7.1%	14.1%	**—**	**5.2%**	**—**	**—**
ブラウンフィールド活用事業												
売上高	292	205	692	**266**	**1,457**	703	458	133	**226**	**1,522**	**85.2%**	**104.5%**
利益	65	16	138	**12**	**231**	124	87	▲11	**17**	**218**	**146.4%**	**94.5%**
利益率	22.2%	7.8%	19.9%	**4.6%**	**15.9%**	17.7%	19.1%	—	**7.9%**	**14.4%**	**—**	**—**
自然エネルギー事業												
売上高	268	226	173	**273**	**941**	433	364	213	**245**	**1,258**	**89.9%**	**133.6%**
利益	73	62	▲23	**18**	**130**	163	87	▲56	**▲15**	**177**	**—**	**136.4%**
利益率	27.3%	27.6%	—	**6.7%**	**13.8%**	37.7%	23.9%	—	**—**	**14.1%**	**—**	**—**

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

セグメント別売上高推移

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.



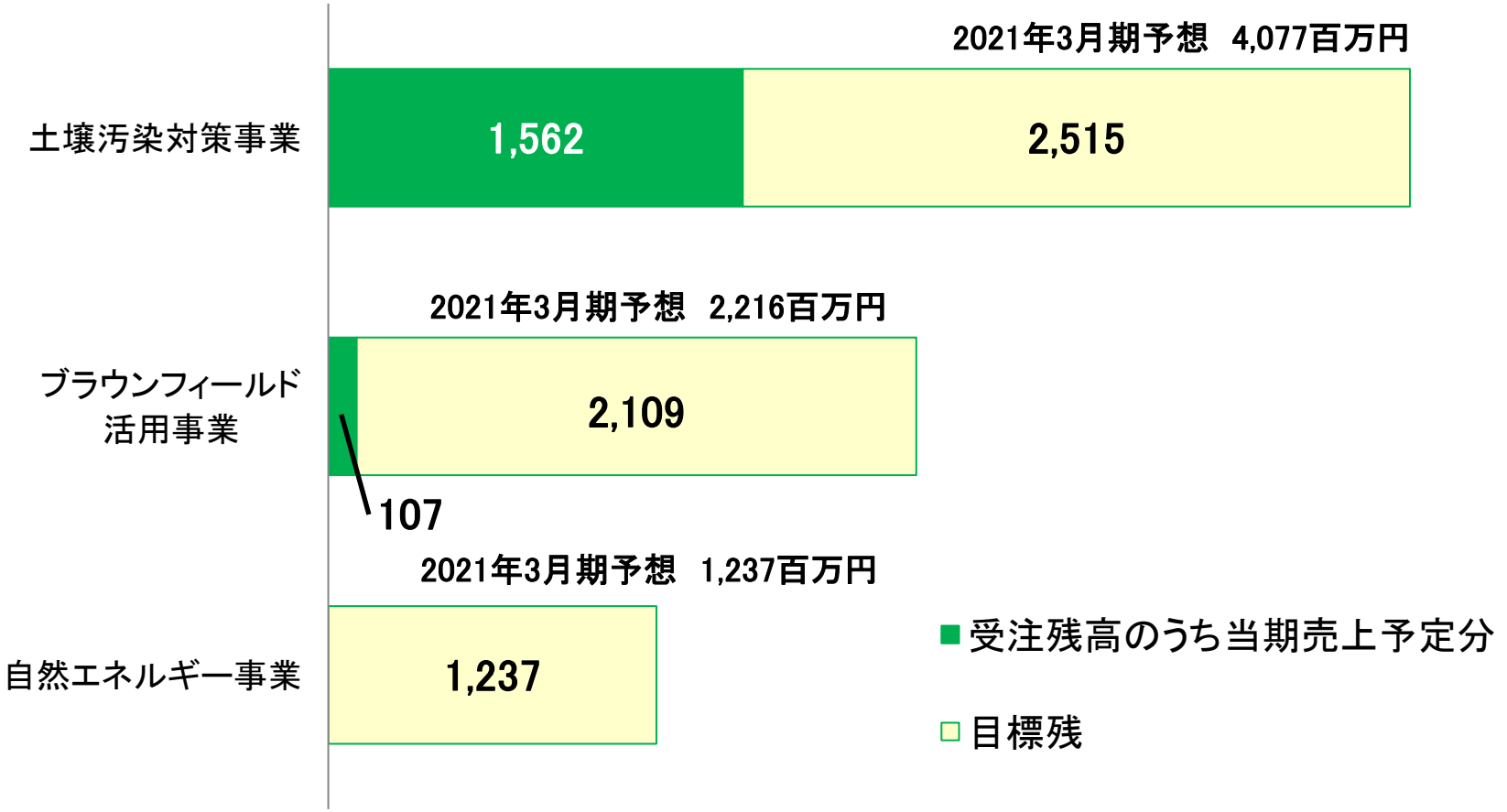
Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

各セグメントの売上予測に対する進捗状況

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

2020年4月24日現在

（単位：百万円）



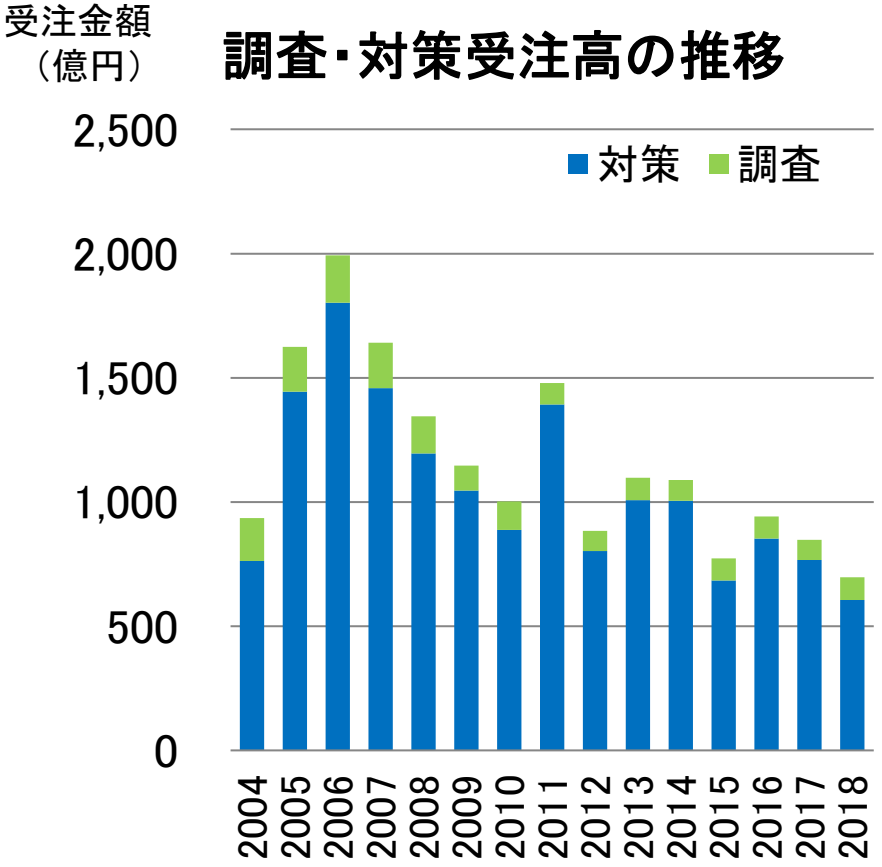
Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

土壌汚染調査・対策事業の受注環境

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

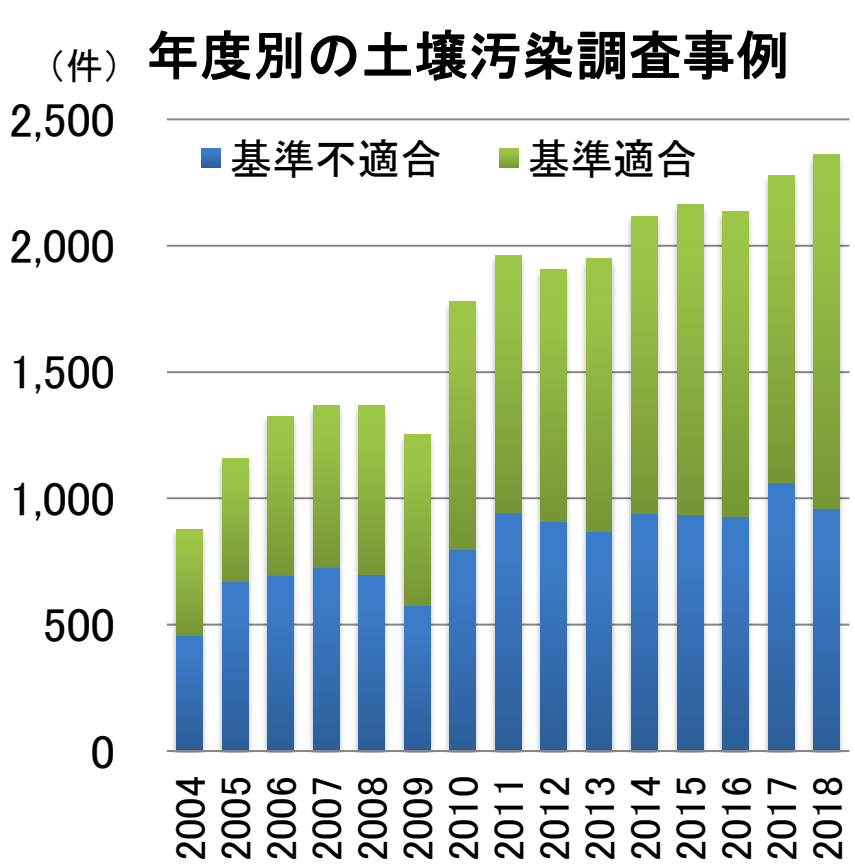
- 2010年改正土壌汚染対策法の施行以降、土壌汚染調査件数は増加傾向
- 2019年4月土壌汚染対策法の一部を改正する法律施行、土壌汚染調査の契機が拡大
- 調査・対策受注高は工事単価の低価格化が進み減少傾向、売上拡大には土壌汚染対策事業とブラウンフィールド活用事業との連携が不可避

調査・対策受注高の推移



出所： 一般社団法人　土壌環境センター

年度別の土壌汚染調査事例



出所： 環境省水・大気環境局

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2. 2020年3月期　トピックス

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2-1.土壌汚染対策事業の進捗
- 2-1.1 エンバイオ・エンジニアリングの取り組み
- 2-1.2 鉱研工業株式会社との資本業務提携
- 2-1.3 中国事業の取り組み

2-2.ブラウンフィールド活用事業の進捗
- 2-2.1 エンバイオ・リアルエステートの取り組み
- 2-2.2 土地再生投資の取り組み

2-3.自然エネルギー事業の進捗

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

1） 利益を重視し、収益性の視点から採算性の悪い分野を縮小した結果、前期より利益率が約3%向上

2） 責任施工保証保険※を裏付けとして工事金額を保証する仕組みにより、大型案件の獲得に成功

※保険正式名称 Contractors Operations and Professional Services Liability Insurance

3） 改正土壌汚染対策法の施行に関する啓発活動として顧客向け勉強会の実施し、新規顧客を獲得

4） ブラウンフィールド活用事業で再生中の土地で商業施設の建築工事を受注（土壌汚染地の取得、解体、浄化工事、造成、建築まで一気通貫で実施）。2020年5月に竣工予定

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2-1.2 鉱研工業株式会社との資本業務提携

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

① 目的

- 地盤環境に関する新たな技術及びサービスを展開すること
- 国内市場における競争力の向上とシェア拡大を図ること
- 海外における事業基盤を確保すること

② 内容

- 業務提携の内容
  - 国内事業：鉱研工業の支店・営業所を活用した案件発掘と営業力の強化
  - 海外事業：当社の情報収集力を活用した案件発掘と営業力の強化
- 資本提携の内容
  - 当社が鉱研工業の普通株式767,000株（発行済株式数比8.55%）を取得

③ 取組状況

- 当社自走式ボーリングマシンの拡販に向けた協業
- 鉱研工業営業網を活用した土壌調査・対策案件の発掘と提案
- 当社の太陽光発電事業ノウハウと鉱研工業の掘削技術を組み合わせた水資源開発事業の提案

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2-1.3 中国事業の取り組み

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

① 市場環境

- 土壌汚染防治法施行（2019年1月）により土壌修復市場が本格的に顕在化
- 環境規制の強化により環境規制対応コンサルティングのニーズが顕在化

② 営業状況

- 日系企業に対して土壌調査、排気・排水等のエンジニアリングサービスを展開
  - 「中国環境リスクハンドブック」を500部制作し、日系企業に配布、啓発マーケティング
- 中国企業向けに原位置・オンサイト修復技術と修復処理設備、土壌修復用の微生物製剤の売り込み
  - 南京、広州、蘇州、上海、北京、西安、成都の提携企業を介した案件開拓
  - 石油採掘で発生する油泥の処理を新たなターゲットとして開拓
- 合弁会社を清算し、100%出資子会社に経営資源を集中することを決定

③ 受注実績

- 新型コロナウイルスの影響で1～3月の営業活動は低迷、生産活動は中断

業務内容	2019/4-12	2020/1-3
コンサルティング	11	0
土壌調査	7	2
浄化工事	0	0

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2-2. ブラウンフィールド活用事業の進捗
2-2.1 エンバイオ・リアルエステートの取り組み

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

- 足立区内印刷工場（元クリーニング工場）を土壌汚染付きで購入。
- 平塚市内の元工場の解体・土壌深度調査を実施。
- 目黒区内金属製品製造工場跡地で2年間モニタリング中のコインパーキング運用開始

（単位：件数）

	2020年3月期					
	前年度末	1Q	2Q	3Q	4Q	年度合計
売却用物件（取得）	–	–	2	5	4	11
売却用物件（売却）	–	5	4	1	6 (3)※	16 (3)※
売却物件残数	27	22	20	24	22	22
保有物件（取得）	–	2	1	1	3 (3)※	7 (3)※
保有物件（売却）	–	–	–	–	–	—
保有物件残数	10	12	13	14	17	17

※売却用物件から3案件を保有目的の変更により、保有物件へ振替をしております。



浄化中

完成時



横浜市ｶﾞｿﾘﾝｽﾀﾝﾄﾞ物件

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2-2.2 土地再生投資の取り組み

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

第1号案件：建物建築工事中、2021年3月期売却予定	
(1) 所在地	神奈川県横浜市
(2) 面積	約3，358㎡
(3) 現状	商業テナント誘致が完了（事業用定期借地権契約締結済） テナントの新築工事をエンバイオ・エンジニアリングにて建築中。 2021年3月期前半の売却を目指し、推進中。

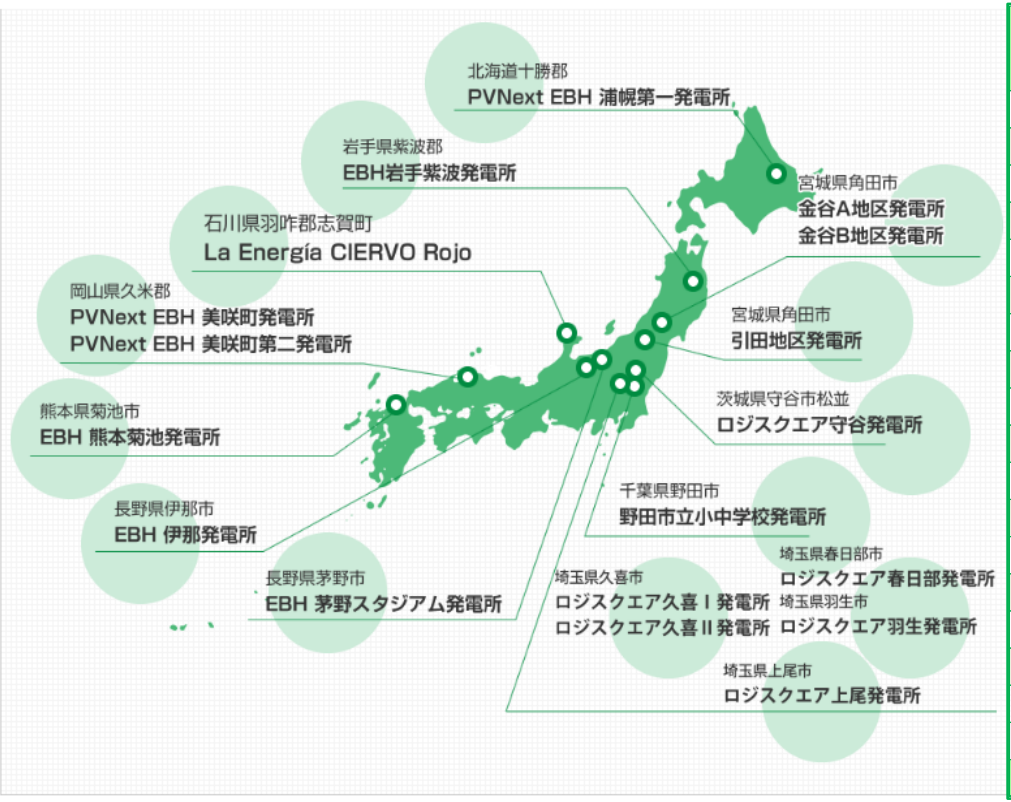
第2号案件：売買契約締結済	
(1) 所在地	神奈川県厚木市
(2) 面積	約10，032㎡
(3) 今後の予定	2020年6月購入決済。 その後、2年間定期借家賃貸借契約締結。 退去後、解体・土壌汚染浄化工事を行い、物流用地として売却。

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2-3. 自然エネルギー事業の進捗（国内）

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

■ 2019年10月12日～13日未明にかけて襲来した台風19号の影響により、一時発電を停止していた金谷A地区、金谷B地区発電所の工事が完了。2021年3月期第1Qより再稼働予定。
■ 36．2MWの太陽光発電所が稼働中。



発電所名	発電出力 DC(kW)	○事業開始日				
		2016.3 以前	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3
金谷A地区発電所（宮城県）	2,430.40	○				
金谷B地区発電所（宮城県）	632.40	○				
引田地区発電所（宮城県）	2,480.00	○				
PVNext EBH 美咲町発電所（岡山県）	2,373.80	○				
PVNext EBH 浦幌第一発電所（北海道）	1,951.04		○			
EBH熊本菊池発電所（熊本県）	570.24		○			
EBH岩手紫波発電所（岩手県）	1,811.70		○			
EBH茅野スタジアム発電所（長野県）	1,328.14			○		
EBH伊那発電所（長野県）	436.80			○		
野田市小中学校発電所（千葉県、13学校）	1,746.30		○	○		
ロジスクエア久喜Ⅱ発電所（埼玉県）	504.90			○		
La Energía CIERVO Rojo（石川県）	13,893.00				○	
ロジスクエア久喜Ⅰ発電所（埼玉県）	1,347.84			○		
ロジスクエア守谷発電所（茨城県）	2,088.96				○	
ロジスクエア羽生発電所（埼玉県）	1,084.32				○	
ロジスクエア春日部発電所（埼玉県）	842.40				○	
PVNext EBH 美咲町第二発電所（岡山県）	97.20					○
ロジスクエア上尾発電所	625.80					○
合計	36,245.24					

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

2-3. 自然エネルギー事業の進捗（海外）

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

■ ヨルダン（太陽光発電事業）
- ヨルダンにて太陽光発電所の開発に着手いたしました。
- 本発電所で発電された電力は地下水を汲み上げる動力として使用されます。

■ トルコ（バイオマス発電事業）
- トルコにてバイオマス発電事業の開発に着手いたしました。
- 本発電所では地域バイオマスを利用したガス化発電を行う予定です。

太陽光発電所建設予定地
場所：Al Mafraq、ヨルダン
規模：705kW



Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

3. 2021年3月期　通期業績予想（連結ベース）

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

3-1. 2021年3月期　連結業績予想

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

新型コロナウィルス感染拡大による不確実性に対応するため、保守的な予算を作成しました。その影響額は、当初シミュレーション値に比べ、売上高2,266百万円減、経常利益500百万円減となります。

■土壌汚染対策事業
国内、中国ともに、2020年9月末まで工事の中断や着工遅れによる検収時期の遅延や新規受注の減速化が生じることを想定。下期に回復しても生産能力の問題から上期の遅れを全て挽回することは困難と想定。

■ブラウンフィールド活用事業
すでに契約済み及び契約書作成段階の案件を除き、上期に販売を予定していた物件の販売時期を2020年10月以降に変更。また当該物件の売却想定金額も保守的に見直し。

（単位：百万円）

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前期比
売上高	7,408	7,530	101.6%
営業利益	674	290	43.1%
経常利益	521	183	35.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	555	112	20.3%

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

3-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

（単位：百万円）

		2020年 3月期実績	2021年 3月期予想	前期比
売上高	土壌汚染対策事業	4,627	4,077	88.1%
	ブラウンフィールド活用事業	1,522	2,216	145.5%
	自然エネルギー事業	1,258	1,237	98.3%
	合計	7,408	7,530	101.6%
セグメント利益	土壌汚染対策事業	240	52	21.7%
	ブラウンフィールド活用事業	218	57	26.2%
	自然エネルギー事業	177	185	104.2%
	その他	△115	△111	－
	合計	521	183	35.1%

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

Ⅲ．中期経営計画2023について

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

中期経営計画2023について

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

2019年6月に発表しました中期経営計画2023は、発表時の経営・経済環境下で作成したものであります。

しかしながら、新型コロナウィルスの感染拡大に伴う昨今の急速な環境変化は、当社の主要サービスの一部に影響が出ること（工事の中断や着工遅れによる検収時期の遅延や新規受注の減速化、不動産市況の冷え込み等）が想定され、2021年3月期の予想にもその影響を織り込んだところであります。

このような状況の下、地盤の環境・エネルギーに関わる問題解決を担うグローバルな専門企業集団を目指すという中長期の経営方針は持続いたしますが、公表計画数値につきましては一旦取り下げさせていただきます。

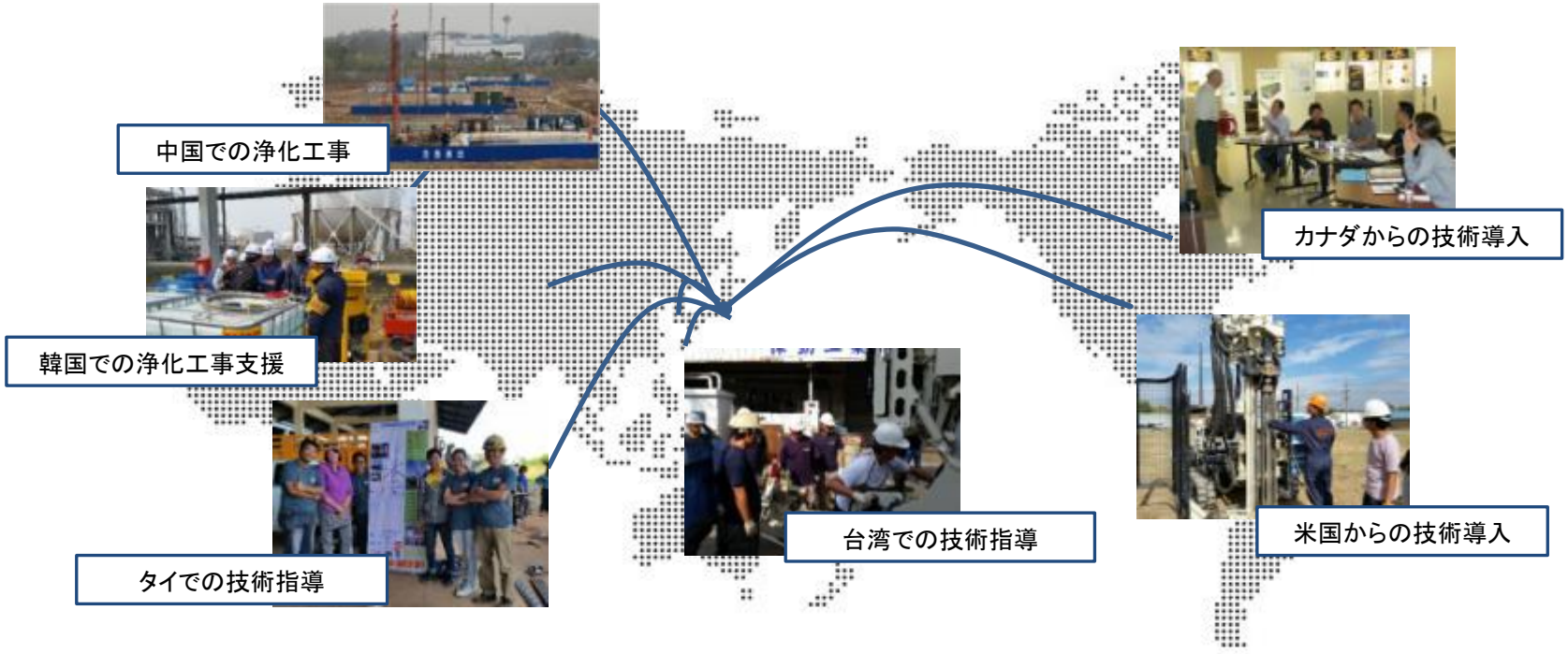
今後、新型コロナウィルスの感染拡大が落ち着いたタイミングで、事業環境や市場環境を、再検証、精査し、新規計画を策定の上改めて公表させていただく予定です。

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

長期経営ビジョン

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

『地盤の環境・エネルギーに関わる問題解決を担うグローバルな専門企業集団』



エンバイオ・ホールディングスグループは自社開発の独自技術をはじめ、欧米企業との技術協力を軸に、中国、台湾、韓国、タイをはじめとするアジア諸国への事業を展開中

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,

中期経営方針

株式会社エンバイオ・ホールディングス
EnBio Holdings, Inc.

1. **グループの総合力を生かしたサービスで土壌汚染問題解決のリーディングカンパニー**
   1） 土壌汚染対策事業の拡大と収益力の向上
      ・原位置浄化の技術力
      ・責任施工保証保険による安心
   2） ブラウンフィールド活用事業の大規模化と土壌汚染対策事業との連携強化

2. **次の飛躍に向けた成長基盤の構築**
   3） 中国事業の収益拡大
   4） 自然エネルギー事業による収益の安定化

Copyright © 2020 EnBio Holdings, Inc. All Rights Reserved,